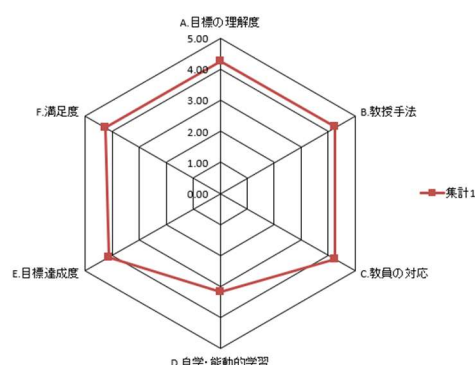


2025 年度後期 授業評価アンケートの結果

2025 年度後期のアンケート回収率は 28.1% です。 全設問の総合平均点数は 4.06 点でした。参考として、2025 年度前期のアンケートでは、有効回答数 3,177 件 (44.9%)、総合平均点数は 3.99 点でした。 前期と比較して、回答率は低下したものの、満足度を含む全体的な評価点数は上昇傾向にあります。



適用設問	カテゴリ	集計1
1	A.目標の理解度	4.25
2,3,4,5	B.教授手法	4.27
6,7	C.教員の対応	4.26
8,9	D.自学・能動的学習	3.17
10	E.目標達成度	4.11
11	F.満足度	4.26
全設問		4.06

◆ アンケート（点数評価）から読み取れる傾向と改善のヒント

2025 年度後期のアンケート結果を見ると、総合平均点は 4.06 点と、前期 (3.99 点) を上回る高い評価が得られました。

特に、「B. 教授手法」 (4.27 点)、「C. 教員の対応」 (4.26 点)、「F. 満足度」 (4.26 点) のカテゴリは非常に高く評価されています。

また、「授業の開始・終了時刻の遵守 (Q5)」は 4.38 点と全項目中で最高評価となっており、教員の誠実な授業運営が学生に支持されていることがうかがえます。

一方で、前期から引き続き「D. 自学・能動的学習」の評価が 3.17 点と全カテゴリ中で最も低くなっています。

特に「授業時間外の学習時間 (Q9)」は 2.90 点と極めて低く、授業外での主体的な学習をいかに促進させるかが依然として大きな課題です。

2025年度 後期 授業評価アンケート(集計1)

担当教員	全教員	回答者/履修登録	1765/6279
授業名	全授業	全設問 評定平均	4.06

カテゴリ	No	設問	評定平均	回答率(%)					有効回答数	無記入
				1	2	3	4	5		
A.目標の理解度	1	1.シラバスや最初の講義等で、この授業の目的や目標を理解して受講した。	4.25	0.45	1.47	16.88	34.56	46.63	1765	0
B.教授手法	2	2.この授業は適度な早さで進められ、分かりやすかった。	4.20	0.85	2.44	18.41	32.07	46.23	1765	0
	3	3.教員の声の大きさや話し方は、分かりやすかった。	4.30	0.91	2.61	14.96	29.07	52.46	1765	0
	4	4.黒板やホワイトボードの(オンラインの場合は画面に表示された)文字や資料、パワーポイント等の内容は、分かりやすかった。	4.21	1.13	2.61	19.26	28.44	48.56	1765	0
	5	5.この授業は、予定時刻通りに始まり、予定時刻通りに終了していた。	4.38	0.40	1.47	13.88	28.67	55.58	1765	0
C.教員の対応	6	6.教員は、学生の遅刻や私語などにきちんと対応し授業の適切な運営維持に努めていた。	4.24	0.91	1.59	18.53	30.48	48.50	1765	0
	7	7.この授業では、学生の相談や質問等に対し、教員は分かるように対応していた。	4.28	0.40	1.70	18.24	29.12	50.54	1765	0
D.自学・能動的学習	8	8.この授業に関する参考図書を読んだり、各種情報(新聞・雑誌、Webなど)を自分で調べたりした。	3.43	10.59	12.69	26.52	23.12	27.08	1765	0
	9	9.この授業1回に対して授業時間外に費やした平均時間(予習、復習、課題対応等も含む。)はおおよそ何時間ですか。	2.90	20.06	20.34	26.69	15.58	17.34	1765	0
E.目標達成度	10	10.この授業では、シラバスや講義等で示されていた目標に到達することができた。	4.11	0.40	1.93	22.21	37.17	38.30	1765	0
F.満足度	11	11.この授業は全体として満足できる内容だった。	4.26	0.45	1.87	17.79	31.39	48.50	1765	0
G.その他	12	13.遠隔授業における課題・授業・資料等の配信は適切に行われた。	4.32	0.34	0.85	9.97	18.13	32.12	1765	681

◆ アンケートの振り返り

1. 学生が「何を、どのように勉強すべきか」を明確にする取り組みを強化します。
 - ・復習の実施、Webサイトや新聞を用いた調査課題の提示、および授業内での「具体的な勉強の仕方」の教示など。
2. 大人数クラスにおける「私語や遅刻」・「教室の過密状態」への対応
 - ・私語・遅刻の指導基準を授業内で周知する。教室の収容人数と履修者数に目を配り教育環境の質を確保する。
3. アンケートシステムの改修と活用
 - ・回答率の低下(28.1%)を改善するため、学生がより手軽に回答できる仕組みを再点検する。

アンケート(記述式を含む)の科目別詳細は、科目担当教員にすべて伝えられており、今後の授業改善計画に活かされます。